

令和 2 年度 東海大学望星技術士会第 9 回役員会 議事録 (HP 版)

1 日時：令和 3 年 2 月 27 日 (土) 14 : 00 ~ 16 : 40

2 場所：ZOOM によるリモート会議

3 リモート出席：(常)笠原勉、(常)平野滋、(常)綿貫啓、(常)永井和典、(常)庄司大介、星崎紀一、久一博世、今村均、桜井裕一、(常)齋藤寛(記録) (常任幹事 7 名中 6 名出席)

4 打ち合わせ内容

① 令和 3 年度総会の開催について

- ・リモート総会を想定し、特別講演、来賓挨拶などは省略する。会長挨拶は川上先生にお願いする。
- ・具体的な開催方法、役割分担、議案及び報告内容は今後決定・整理する。総会資料は PDF で事前配布。
- ・令和 2 年度会計は、支出収入ともほとんどなく、現状 (仮報告) 通りの締めとなりそうである。
- ・会則改定では、副会長代表の定め方、役員任期 (常任幹事、幹事、顧問) 等について改定文を再検討する。また、幹事、常任幹事及び各職位の増員についても検討が必要 (リモートによる地方幹事の可能性も考慮)。
- ・役員を選任に向けて、各役員の職位と任期についての情報を整理する。任期となる役員の再任受諾意向の確認が必要。
- ・会員名簿の公開・活用について、総会に諮り会員意向の把握と公開情報の範囲を確認する。また、今後入会申込み時の名簿情報公開の可否と範囲の確認方法を検討する。
- ・会報第 4 号の HP 掲載情報を先生から学生に紹介してもらう。
- ・令和 3 年度活動計画として、リモート講義の継続・拡大を検討する (湘南土木・建築、清水海洋学部)。また、会員向けに各種プロジェクト経験者などのリモート講演を検討する。

② 活動協力金・寄付金について

- ・寄付金のお願いを広く会員に伝える (総会でのお願い、会報への掲載など)。

③ 名簿管理の体制について

- ・グーグルフォームを活用した入会申込み管理と会員名簿への反映方法については、4 月以降に検討ミーティングを行う。

④ 会報編集作業について

- ・会報の原稿はほぼそろっている。今後、編集・チェック作業に入る。

⑤ その他

- ・会員名簿の公開・活用について、会員同意が整ったら、その運用方法の検討が必要。インターネット公開の場合、サーバーの導入など環境整備も必要となる。

5 次回役員会 令和 3 年 3 月 27 日 (土) 14 : 00 ~ ZOOM によるリモート開催とする。